

2023
AUTUMN

Vol. **32**

だいしん
ビジネス  てらす
地域のビジネスに光を照らす

だいしん ビジネスてらす レポート

2023年7月～9月期・実績

2023年10月～12月期・見通し



第15回
トップインタビュー

株式会社 日本環境管理センター

■ ■ ■ 西濃地域のおすすめショップ紹介 ■ ■ ■

博多ラーメン いちき 一木



いっしょにあしたへ
大垣西濃信用金庫

<https://www.ogakiseino-shinkin.co.jp>



LINE公式アカウント開設!
友だち追加はこちらから!
@ogakiseino-shinkin



本社外観



事務所



引抜いた汚水の約7割をその場で浄化し、リサイクルできます



街路樹の剪定枝と汚泥を合わせたペレット



毎週木曜日に野菜の直売会を開催

第15回 トップインタビュー

株式会社 日本環境管理センター

〒503-0312 岐阜県海津市平田町三郷493 <https://www.nikkan-c.co.jp/>

創業/昭和32(1957)年4月 資本金/1,000万円 代表取締役/牧野 好晃 従業員数/64名(2023年9月現在)

事業内容/一般廃棄物収集運搬・処分、浄化槽清掃・保守点検・工事、下水道施設維持管理、産業廃棄物収集運搬・処分、廃棄物再生事業、野菜・肥料販売
[平田リサイクルセンター] 岐阜県海津市平田町三郷482

ゴミを出さずに知恵を出す。地域の資源を循環させる新しい仕組みを創っています。

【若山】 資源のリサイクルや農場経営、体験教室など、様々な取り組みをされていますね。事業の始まりは何ですか。

【牧野社長】 創業は昭和32(1957)年、先代が海津市(当時海津郡)で始めた一般廃棄物処理業です。

今でこそ、一般・産業廃棄物など、様々な廃棄物の処理・処分も形を整えてきていますが、法が整備されていない当時は、地域から出る「し尿」を処理する事さえも大変な苦勞をしてきたと聞いています。廃棄物と言われるもの(し尿、ごみなど)は、社会において毎日出るものです。誰かが収集し、適正な処理をしなければなりません。処理施設が整備されていない大変な時代をえて公衆衛生に寄与するため、業界が一丸となって、現状を変えていくべく組合が設立されました。

【若山】 高度経済成長を機に下水道や浄化槽が普及しました。近年は、浄化槽の利点が再注目されているそうですね。

【牧野社長】 浄化槽は日本で生まれた小型の排水処理施設です。下水道を敷設しにくい地形でも個別に設置することができます。万が一地震が起こっても早期に復旧できるため、災害対応力が高いと評価されています。浄化槽は、微生物の働きで汚水を分解し、きれいな水に変えてから河川などに流す仕組みです。槽底に残った汚泥(沈殿物)は水質悪化の原因となるため、定期的にバキュームカーで引抜き処理場に投入します。海津では平成2(1990)年に下水道が整備されました。下水道からも汚泥は出るため、これを再生する方法はないかと当社は考えました。5年ほど試行錯誤を重ね、リサイクル肥料「炭化汚泥*1」を独自に開発しました。事業化したのは平成

14(2002)年、SDGsという言葉が生まれる10年以上前の話です。炭化汚泥は、市内で排出された汚泥を炭にして減容化を図り、肥料にかけて農地に還元するものです。ミネラル豊富な肥料を持って地元農家を訪ねると、思いの外反応は冷やかでした。「品質が確かでない」と仕事には使えないよと。「それなら当社が実証しますね」とカンファーム(約6,000坪の農園)を作り、翌年には野菜を育て始めました。

その後、海津市さんから「廃棄物で燃料を作れないか」という相談を受け、開発したのが剪定枝のペレット燃料です。これも実証が必要と考え、平成26(2014)年にグリーンパイアの温室栽培を開始。ペレット燃料でボイラーを動かし、温度管理しています。

【若山】 捨てるしかない廃棄物が、見事に「資源」になりました。

【牧野社長】 当社では、環境への取り組みや安心安全のサービスについて、正しくご理解いただくために様々な講座や体験教室を開催しています。汚泥処理工場の竣工時には、小学生からお年寄りまで、海外も含めて年間1,000人超に見学していただきました。次世代を担う子供達を育てる目的で、平成14(2002)年に始まった『ぎふ地球環境塾*2』では、企業の方や、大学の先生方など専門家を講師に迎え、月1回親子で学びます。意識の向上、知識の裏付け、親子のコミュニケーションの深化など、おかげ様で参加された方にはご好評をいただいています。

以前、環境塾の講義の中でこんな問いかけがありました。「燃えるゴミは処理場へ、下水の汚泥は肥料に。では天ぷら油はどうするの?」と。国内で燃料化ができれば…と考えていたところ、不純物を99.8%

*1 民間では日本初

*2 一般社団法人 ぎふ地球環境塾(日本環境管理センター内)が運営



代表取締役 牧野 好晃 さん

除去できる画期的な機械が登場しました。茶色く濁った天ぷら油が、クリーンな高純度バイオディーゼル燃料(ReESEL*3)に変身! さっそく無料の廃油回収所「わくわく油田スポット」を、地元市民の皆さんの協力のもと各所に設置*4、集まった油でバイオ燃料を作っています。

私たちは、バイオ燃料を作る過程で生まれる廃棄物(グリセリン)も捨てません。油汚れがよく落ちる家庭用洗剤「ウォックル」を開発し、この秋販売予定です。

建築現場でよく見かけるディーゼル車ですが、一般車両を目にする機会が少なく、それなら公用車をディーゼル車にして実証しようと、この春海津市に寄贈しました。1年間、100%バイオ燃料を使った車の走りや乗り心地などを職員の方にモニタリングしていただく予定です。廃油については今後いろいろ活用できそうですが…。悩ましいのは時代の流れがディーゼル車から電気自動車にシフトしていることです。バイオ燃料を最大限に活用していただくために、近い将来、バイオ燃料の充電スポットを設け、ディーゼル車も電気自動車もそこに集えるような環境を整えたいと考えています。

【若山】 廃棄物の地産地消という言葉が使われていますね。

【牧野社長】 炭化汚泥の開発から20年ほど経ちました。今後は時代のニーズにあわせて、「より美味しい野菜が育つ」肥料づくりを目指したいと思います。具体的には新工場を建設し、コンポストを使って汚泥の肥料を作る予定です。これは、微生物の力で分解発酵させて肥料を作る仕組みですから、脱炭素の取り組みでもあります。地域で育てた作物を地域で食すのが環境に優しいように、地域で

*3 一般社団法人 高純度バイオディーゼル燃料事業者連合会(星子桜文 代表理事)

*4 大垣西濃信用金庫 今尾支店にも設置中



使用済みの天ぷら油を高純度バイオ燃料に再生

好きな時に資源ゴミを無料で持ち込める(火・水曜日)



排出したゴミは地域で資源化して消費するのが望ましいと思います。むやみにゴミを出さないためには、一人ひとりがいかに無理なく使えるものにするかのアイデアが大切です。

創業以来当社では、地域のお困りごとに目を向けて、いま何が求められているかを考え、サービスや商品を実現してきました。これからも、社内外の皆さんのいろんな知恵をお借りして、人とともに、暮らしとともに、地域とともに歩み続けていきたいと考えています。

【若山】 新しい仕組みづくり、だいいしのビジネスマッチングをご活用ください。本日はありがとうございました。

語り手/株式会社 日本環境管理センター 牧野 好晃 さん

聞き手/大垣西濃信用金庫 事業成長推進部 部長 若山 謙一

西濃地域の おすすめ ショップ紹介

博多ラーメン 一木

いちき

博多で出会った感動を、
麺・醤油・スープ
すべてに込めて。

ココと旨みが凝縮された豚骨スープに良くからむ、しなやかな平打ち細麺。ふわっと小麦が香るのは、ラーメン好きも膝を打つ福岡「歴史」の製麺です。かえしは、福岡伝統の「ヤマタカ醤油」を配合したオリジナル。スープは、地元養老町で仕入れた豚骨の部位をいくつか組み合わせ、くさみのないまろやかな味を完成させました。博多の味を、ぜひ岐阜で。

岐阜県大垣市松町667
営業時間/11:30~14:00(土日祝11:00~)
※LO13:45
定休日/月曜日

- 調査期間 2023年7月～9月実績 2023年10月～12月見通し
- 調査時点 2023年9月
- 調査対象 西濃を中心とした地域の当金庫取引先事業所
- 調査方法 アンケート調査
前期(3ヶ月前)・前年同月(12ヶ月前)とを比較した質問を実施。
- 回答企業数 583 (回答率 97.2%)
- 調査結果

回答企業の内訳						
製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	合計
198	38	107	94	123	23	583

対象企業の地域					
大垣市	瑞穂市	本巣市	海津市	養老郡	
241	23	51	16	42	
不破郡	安八郡	揖斐郡	本巣郡	その他	合計
29	52	94	19	16	583

景況の状況と今後の見通し	
全産業総合	<p>▶概況 全産業の3か月前との比較で見た業況判断D Iは、1.0となり前期△1.5と比べ悪化した。業種別業況では、製造業、卸売業、サービス業、建設業は前回調査より悪化した。小売業については厳しい状況になった。全産業総合の個別項目については、生産・売上D I(前期4.5→3.9)、収益D I(前期△6.4→△5.8)、資金繰りD I(前期△8.8→△6.7)と、収益、資金繰りの項目が前期より悪化傾向にあるものの、マイナスへの振れ幅が大きい状況にある。エネルギー価格をはじめとする物価高が依然として事業所の収益に影響を与えている事が窺える。全産業総合における今後3か月間の予想では、業況、生産・売上、収益、資金繰りのいずれの項目についても悪化する見通しであり、引き続き厳しい状況が続く見通しである。設備投資の今後の実施予定については1.6%と前期1.3%より若干増加、設備導入における目的については、「合省力化」が最も多く、昨今の燃料、光熱費高騰や、人手不足に対して、設備導入による課題解決を検討している状況が窺える。</p>
製造業	<p>▶概況 製造業全体の業況判断D Iは5.1と前期4.0より悪化した。今後の見通しについても4.5と若干の悪化であるが、他の業種と比べプラスの振れ幅にて推移している。一方で製造業内での今期業況判断D Iは、食料品製造26.7、金属プレス・メッキ20.0と大幅なプラスに対し、左記以外の製造業についてはD I値マイナスとなっており、製造業内においても業況について大きな差がある事が窺えた。</p> <p>▶製造業コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取引先からの受注増加し増収となるも、物価高の影響を受け減収。特に材料、電力費の高騰により利益圧迫、価格も安定していない。若手人材の不足が顕著であり外国人実習生を雇用し人手を賅っているが人材確保のため人件費が全般に高騰している。 ・コロナが落ち着いた新店舗出店が増えた。またコロナにより無人レジの需要が高まり受注が増加している。 ・電気自動車へのシフトが進んでおり、電気自動車関連の部品需要が大きくなると見込んでいる。一方で内燃機関や周辺部の部品消費による受注減が懸念される。
卸売業	<p>▶概況 卸売業の業況判断D Iは△2.6と前期△8.1より悪化、今後の見通しについては、0.0と引き続き悪化傾向にあると見込んでいる。項目別では、生産・売上D Iが前期△8.1、今期△5.3、今後の見通し2.6と一貫して悪化傾向である一方で、収益については前期△5.4、今期△18.4、今後の見通し△26.3と悪化傾向にあり、物価高等の影響により、収支面では引き続き厳しい状況が続く見通しである事が窺える。</p> <p>▶卸売業コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内で景況は持ち直しつつあるが、国内の価格の引下げは消極的で、結果的には国際相場に引きずられていく。コロナ禍と比較すると売上回復傾向にあるが、物価高が進む中で、これまでのように安く商品を仕入れる事が困難。安価な外国製品との競合が課題となっている。 ・仕入商品高騰しており、販売価格に転嫁し対応しているが、販売価格への転嫁が困難な場合は、個数や量を減らし従前単価で取引している。材料高以外にも、施工業者などの人手不足により工事価格上昇が発生している。
小売業	<p>▶概況 小売業の業況判断D Iは△10.3と前期△7.4より悪化、今後の見通しについても△12.1と引き続き厳しい状況が続くと見込んでいる。生産・売上D I値は、前期0.0、今期△7.5、今後の見通し△8.4と悪化傾向が続く見通しとなっている。コメントからは、物価高の影響により消費マインドの冷え込みを懸念する声が多く寄せられており、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行で期待されたコロナ前の水準への消費の回復は、厳しい状況にある事が窺える。</p> <p>▶小売業コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者の自動車離れなど、若年層の消費が年々減少しており、若者向けの事業展開が課題。また、少子高齢化の進展により子供向け商品の売上が減少している。コロナ禍と比較すると、駅前イベントが復活し売上が回復傾向にある一方で、イベントが復活するも売上がコロナ前に戻っていない地域も多い。 ・景況悪化や物価高騰により消費者が趣味にお金をかけられない、消費にお金が回るのか懸念している。ドラッグストアの出店増加や大手スーパーの攻勢により競合が進み、新規顧客確保が難しい。SNSでのPRを開始、コロナ禍で売上減少したが、現在は回復基調にある。
サービス業	<p>▶概況 サービス業の業況判断D Iは0.0と前期△4.3より悪化、今後の見通しについては△5.3と悪化を見込んでいる。項目別では、生産・売上D Iが前期5.3、今期5.3と横ばいであるが、今後の見通し0.0と悪化の見通し。同じく収益D Iについても、前期△14.9、今期△14.9と横ばい、今後の見通し△17.0と悪化を見込んでいる。コメントからは、燃料費等の物価高騰の先行きが読めない事や、運送業を中心とした2024年問題による人手不足の影響を懸念している。</p> <p>▶サービス業コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍と比べ売上増加傾向。特に昼間の増加が顕著であるが、夜間の利用はまだ少ない。利用客が固定されてきており、新規顧客の獲得が課題となっている。また、物価高騰による仕入れ、光熱費の高騰が経営への痛手となっている ・2024年問題への対応が悩みどころ。国からトラックの数量指定や動き方改革など、労働環境の見直しが行われている。また、ガソリン価格の値上げへの対応も課題。 ・新車の納期が以前と比較すると短期間になり中古車価格は下落傾向であるが、未だコロナ前よりは高値で推移している。
建設業	<p>▶概況 建設業の業況判断D Iは8.9と前期0.8より悪化、今後の見通しについては7.3と若干悪化を見込むも、D I値プラスにて推移している。項目別では、生産・売上D Iが前期5.7、今期10.6、今後の見通し9.8、収益D Iについては前期△5.7、今期3.3、今後の見通し△0.8と今期D I値は前期より悪化。今後の見通しは今期D Iより悪化はするものの、前期D I値は上回っている。コメントからは材料高の影響、公共事業における競争の激化、人手不足・従業員の高齢化の声が見受けられた。</p> <p>▶建設業コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共工事の増減により売上が左右されるが、公共工事の受注は減少しており競争が激化している。昨今の自然災害の増加を受けインフラ整備工事の増加を期待。公共工事減少分を民間工事で補い、増収増益を目指す。原材料の高騰により利益率が減少傾向にあるが、今後は代表者自らが価格交渉を行っていき、採算の取れる受注を確保していく方針である。 ・従業員不足と高齢化が課題。また、業界として代表者自身も高齢化も進んでいる。特に若手従業員が不足しており、捌ける受注も限られ売上減少。若手の採用・育成が課題であるが、人材育成に時間がかかる事が問題。
不動産業	<p>▶状況 不動産業の業況判断D Iは△13.0と前期△13.0と横ばい、一方で今後の見通しは△8.7と悪化を見込んでいる。経営上の問題点では、「競争の激化」が前回調査に引き続き34.8%と、他の業種と比較して高い水準となっている。コメントからは、物価高騰による影響もあり、土地の売買の減少など市場の動きが鈍いとの声が多く寄せられ、物価高による消費活動の冷え込みは不動産業にも影響を与えている事が窺える。</p> <p>▶不動産業コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物価高騰により市場の動きが遅い。土地売上が減少し、かつ動きが悪く長期化する商品土地が課題となっている。分譲物件の売上が低迷しており、売上が減少している。 ・賃貸物件の空室が多くなっており、新規入居者が減少傾向にある。 ・材料価格は依然として高い状況にあるが、材料不足は解消されている。施工現場の人材確保が困難である。

図表1 景況D I値

業種	業況			生産・売上			収益			資金繰り		
	前期DI	今期DI	今後の見通し	前期DI	今期DI	今後の見通し	前期DI	今期DI	今後の見通し	前期DI	今期DI	今後の見通し
全産業総合	▲1.5	1.0	▲0.3	4.5	3.9	2.9	▲6.4	▲5.8	▲7.7	▲8.8	▲6.7	▲7.3
製造業総合	4.0	5.1	4.5	9.6	8.6	7.1	▲8.2	▲4.0	▲7.6	▲9.8	▲6.6	▲6.6
食料品製造	▲5.3	26.7	6.7	5.3	26.7	6.7	▲26.3	6.7	▲20.0	▲5.6	0.0	▲6.7
衣服その他繊維製品	7.1	▲7.1	0.0	7.1	0.0	0.0	▲7.1	▲14.3	▲7.1	▲7.1	▲14.3	▲14.3
窯業・土石	▲25.0	▲44.4	▲11.1	▲16.7	▲44.4	▲11.1	▲41.7	▲55.6	▲22.2	▲8.3	0.0	0.0
金属製品	0.0	▲12.5	▲8.3	6.7	▲8.3	▲12.5	0.0	▲8.3	▲8.3	▲13.3	▲12.5	▲12.5
金属プレス・メッキ	4.2	20.0	5.0	12.5	30.0	25.0	▲12.5	0.0	▲5.0	▲20.8	▲10.0	▲5.0
その他製造業	▲19.0	▲3.4	▲6.9	▲4.8	▲3.4	▲6.9	▲23.8	▲10.3	▲17.2	▲19.0	▲17.2	▲10.3
卸売業	▲8.1	▲2.6	0.0	▲8.1	▲5.3	2.6	▲5.4	▲18.4	▲26.3	▲8.3	▲5.6	▲5.6
小売業	▲7.4	▲10.3	▲12.1	0.0	▲7.5	▲8.4	▲12.0	▲11.2	▲15.0	▲8.3	▲13.2	▲14.2
サービス業	▲4.3	0.0	▲5.3	5.3	5.3	0.0	▲14.9	▲14.9	▲17.0	▲10.6	▲16.0	▲14.9
建設業	0.8	8.9	7.3	5.7	10.6	9.8	▲5.7	3.3	▲0.8	▲2.4	▲1.6	▲1.6
不動産業	▲13.0	▲13.0	▲8.7	▲8.7	▲8.7	▲4.3	▲4.3	▲13.0	▲13.0	▲4.3	▲13.0	▲13.0

今後の見通しは今期DI値と比較してDI値がプラスの場合は▲ マイナスは▼ 0は〆で表記。

図表2 設備投資の状況

業種	設備投資			
	今期実施割合	投資の内訳(最も多いもの)	設備の目的(最も多いもの)	今後の実施予定
全産業総合	1.3%	建物機械の新・増設更改	合省力化	1.6%
製造業総合	2.0%	機械の新・増設	合省力化	3.0%
卸売業	2.7%	店舗事務所	合省力化開発投資 拡販投資	2.7%
小売業	0.0%	店舗事務所	—	0.0%
サービス業	2.1%	その他	合省力化 開発投資	1.1%
建設業	0.0%	—	—	0.8%
不動産業	—	—	—	—

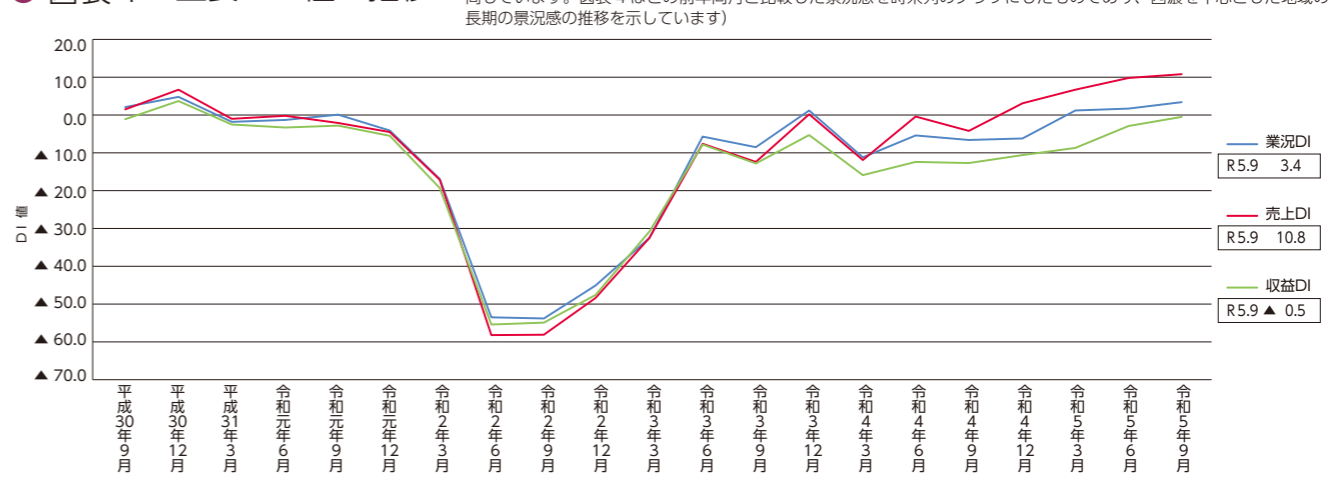
(今後の実施予定は今期実施割合と比較して増加する場合は▲ 減少する場合は▼ 変わらない場合は〆で表記)

図表3 経営上の問題点

経営上の問題点							
売上・受注の減少		人手不足		競争の激化		その他	
今期割合	前期との比較	今期割合	前期との比較	今期割合	前期との比較	今期割合	前期との比較
34.5%	▼	27.4%	▼	18.9%	▲	5.7%	▲
32.3%	▼	30.8%	▼	8.1%	▲	4.5%	▲
26.3%	▼	36.8%	▲	21.1%	▲	15.8%	▲
43.0%	▼	14.0%	▼	32.7%	▲	11.2%	▲
35.1%	▼	30.9%	▲	16.0%	▼	2.1%	▲
31.7%	▼	30.1%	▼	22.8%	▲	0.8%	▼
39.1%	▼	17.4%	▼	34.8%	〆	13.0%	▲

(前期との比較は前回調査と比較して増加している場合は▲ 減少している場合は▼ 変わらない場合は〆で表記)

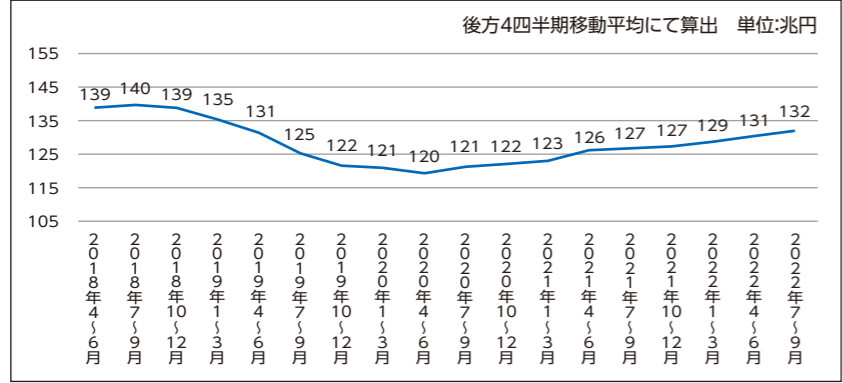
図表4 主要D I値の推移



(調査の分析は3か月前と比較した回答結果を中心におこなっています。しかし3か月前との比較は季節的な要因を含んでおり長期の景況感の変化を見るため、業況・売上・収益の3項目については、前年同月と比較してどうだったのかを質問しています。図表4はこの前年同月と比較した景況感を時系列のグラフにしたものであり、西濃を中心とした地域の長期の景況感の推移を示しています)

今回の調査結果において、新型コロナウイルスの規制緩和等に伴い売上は増加傾向にあるものの、円安等に起因する物価高により収益が厳しい状況が窺えました。今回の調査結果を踏まえ、中小企業の売上、及び物価高に伴う価格転嫁の状況、並びに消費者物価について各種統計データに基づき調査いたしました。

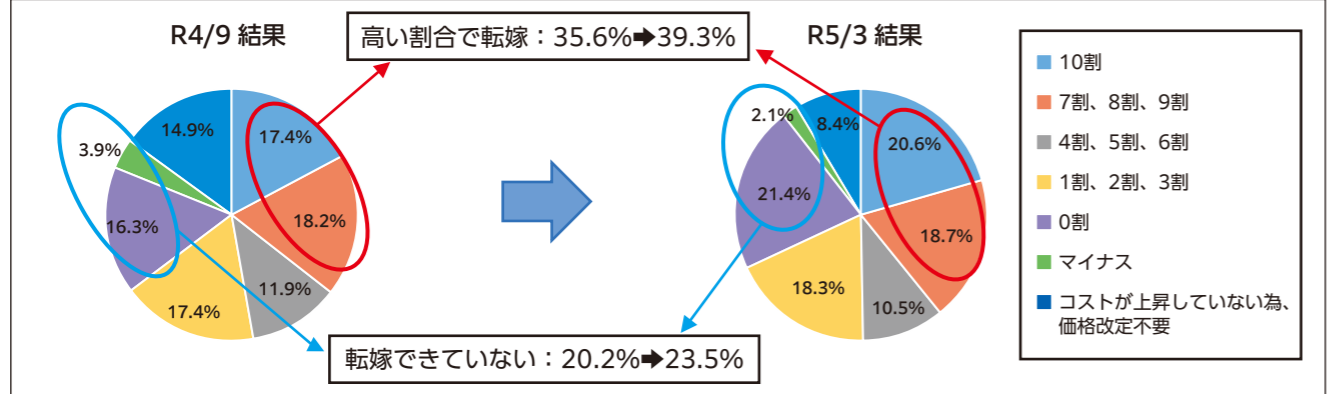
1. 中小企業の売上高の推移 (財務省「法人企業統計調査季報」より)



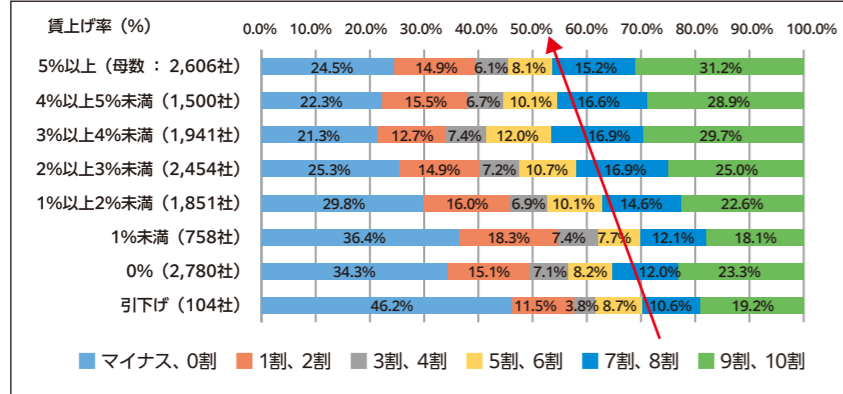
- ・資本金1千万円以上1億円未満を中小企業として算出した。
- ・売上高については、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年に売上が減少したが、直近では売上増加のトレンドにある。

2. 中小企業の価格転嫁の状況及び賃上げとの関係

(1) 中小企業の価格転嫁の状況推移 (中小企業庁「価格交渉促進月間フォローアップ調査結果」より)



(2) 価格転嫁率と賃上げ率との関係 (中小企業庁「価格交渉促進月間フォローアップ調査結果」より)



- ・令和4年9月と比べ、高い水準(7割以上)の価格転嫁が来ている割合が増加しているが、価格転嫁できていない割合も増加しており、二極化が進んでいる。
- ・また価格転嫁ができていない割合が高くなるほど賃上げ率も高くなる傾向にある。

3. 地域の消費者物価状況 (総務省統計局「消費者物価指数全国」及び岐阜県「岐阜市消費者物価指数」より)

令和5年8月調査 (指数は令和2年を100として算出)

品目	総合	生鮮食品 生鮮食品を除く食料	外食	電気代	ガス代	上下水道料	衣料	交通	自動車等関係費	教育娯楽耐消費	理美容サービス	
岐阜市	105.7	112.2	112.0	108.6	100.6	100.7	101.3	101.4	101.5	106.7	105.2	103.6
全国	105.9	112.1	113.8	109.5	97.2	107.9	102.8	103.9	105.8	107.8	104.2	103.9

・令和2年を100として、令和5年8月の状況を比較すると、岐阜市の総合指数にて105.7と物価は上昇している。内訳においては、様々な分野で物価上昇が進んでいるが特に食品関連の値上げが岐阜市、全国とも顕著である。

大垣・西濃・岐阜のSDGsを
見て聞いて触れて体験しよう!

SDGs つながる

2023 **11.3** | 金・祝 |
10:00~15:00
〔荒天時順延:2023.11.19 日曜日〕

会場:大垣西濃信用金庫 北側駐車場
岐阜県大垣市恵比寿町1丁目1番地

会場MAP

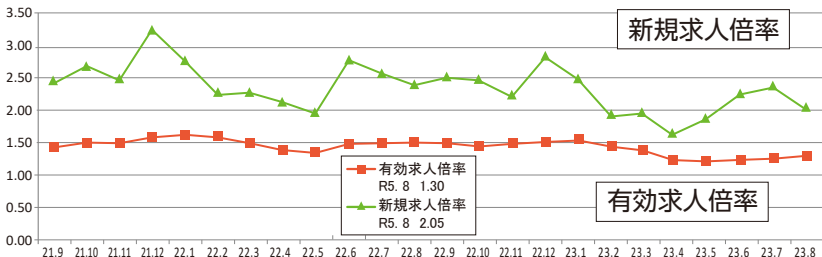
会場で古本と油を回収しています!

主催:大垣西濃信用金庫 共催:J.P.コープ&コンサルティング株式会社、東京海上日動火災保険株式会社
後援:大垣市、大垣地域経済戦略推進協議会



有効求人倍率・新規求人倍率の推移

(対象地域：西濃地方=2市4郡=大垣市・海津市・不破郡・養老郡・安八郡・揖斐郡) (単位：%)



求人倍率

●新規求人倍率とは

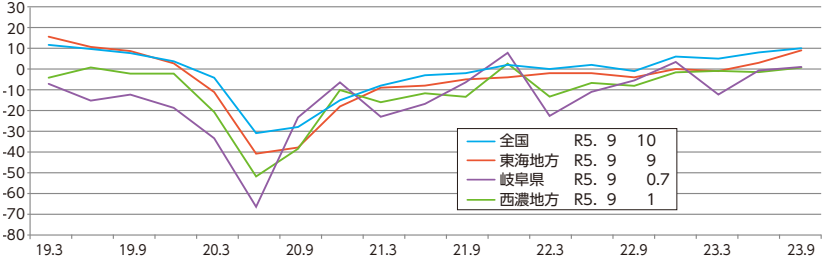
新規求人数(当該月に新たに受け付けた求人数の合計)を新規求職者数(当該月に新たに受け付けた求職者数の合計)で割ったもの

●有効求人倍率とは

月間有効求人数(先月から繰り越した求人数に、当月新たに発生した求人数を合計したもの)を月間有効求職者数(先月から繰り越した求職者数に、当月新たに発生した求職者数を合計したもの)で割ったもの

各地域と当金庫地区内の景気動向比較

(単位：ポイント)



(資料：全国及び東海地方のデータは日銀短観 / 岐阜県のデータは法人企業景気予測調査)

※直近調査データ対象企業数 回答率(%)

全国	9,111	99.4	岐阜県	168	85.7
東海地方	654	99.5	西濃地方	583	97.2

景気動向比較

●日銀短観とは(DI調査)

正式名称を「全国企業短期経済観測調査」といいます。全国の企業動向を的確に把握し、金融政策の適切な運営に資することを目的に、全国の約1万社の企業を対象に四半期毎に実施されており

ます。全国のデータ 出典 / 「全国企業短期経済観測調査」(日本銀行) <https://www.boj.or.jp/statistics/tk/index.htm/> を加工して作成

東海地方のデータ 出典 / 「東海3県の短観」(日本銀行 名古屋支店) <https://www3.boj.or.jp/nagoya/toukei.html> を加工して作成

●法人企業景気予測調査とは(BSI調査)

法人企業景気予測調査は我が国経済活動の主要部分を占める企業活動を把握することにより、経済の現状及び今後の見通しに関する基礎資料を得ることを目的として、資本金1千万円以上の法人企業を対象に実施している調査です。

出典 / 「法人企業景気予測調査」(東海財務局) http://tokai.mof.go.jp/gifu/g_keizaiindex.htm を加工して作成



お客様とお客様をつなげたい

「つながーれ」は、だいしん経済クラブ・だいしん経営者懇話会を中心に、地元経営者の皆様のご縁を結ぶコーナーです。



有限会社根尾開発 小澤 建司さん



株式会社クレーナル野田 青木 宏文さん



日本ブライメタル株式会社 荒木 康伸さん



岐阜倉庫運輸株式会社 小倉 康宏さん



大丸松下食品株式会社 松下 卯蔵さん

岐阜倉庫運輸株式会社

代表取締役社長

小倉 康宏さん

(大垣市出身/65歳)

倉庫と運送の両輪を活かした物流業で、地域の発展に力を尽くしています。

岐阜市柳津町流通センター3-1-6
Tel.058-279-3111



京都 南禅寺：右から2番目が本人



大丸松下食品株式会社

代表取締役社長

松下 卯蔵さん

(大垣市出身/61歳)

弊社「甘い金時豆」は、皆様に支えられて2022年全国煮豆売上ランキング4位になりました。

岐阜県大垣市今5-1-14
Tel.0584-88-0088

趣味は、ウォーキング&映画鑑賞・観劇etc.です。

荒木氏のお誘いで赤池四十八池を満喫しました。マラソン・登山からはウォーキングを気軽に楽しんでいます。映画は何でも観てやろう精神で「ぎふアジア映画祭」や単館上映の欧州映画も観ます。観劇は新春歌舞伎や幕見鑑賞していたのを今は、芝居全般を摘まみ地元劇団の賛助会員として応援しています。他方、抜群の響きで好評のサラマンカホール鑑賞をお薦めします。

世代をつなげる大垣祭

370年余続く大垣祭。私は船町「玉の井輪」という芸輪の祭事委員長をしています。毎年5人の踊り子さんを募り、秋から春までお稽古をします。輪の修繕計画は10年単位。先輩や専門家の意見を聞いて進めます。祭り期間は約15kmを羽織袴で歩きます。ここは青年部の協力なしでは運営できません。世代を超えて関わりあう文化継承は、先人が残した知恵なのかもしれません。



だいしん ビジネスてらす レポート

- 調査期 2023年7月～9月期
- 発行所 大垣西濃信用金庫 事業成長推進部
〒503-0828 大垣市恵比寿町1丁目1番地
TEL(0584)75-6148
- 発行日 2023年10月20日

DI(Diffusion Index)について

DIとは、増加企業割合から減少企業割合を引いた数値で、どちらの力が強いかを比べて、景気がどの方向に向きつつあるかを見る方法である。

(例)前期に比べて売上が増加した企業割合30%、変わらなかった企業割合50%、減少した企業割合20%の場合、DIは30%-20%=10%となる。

本レポートの分析について

本レポートの全業種総合及び各業種の分析は、前期(3ヶ月前)と比較した回答結果で実施しました。

だいしん ケータイサイトはこちら

